

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

# 大阪春闘共闘ニュー

No.3 2 2010年5月21日

〒530-0034

大阪市北区錦町2-2

大阪労連気付

TEL (06) 6353-6421

## 大阪からすべての争議をなくそう！

### 5・20争議支援総行動



↑ 郵便事業大阪支社前での抗議行動

この日は朝からの雨模様のなか、早朝から夕刻まで、大阪府内の各職場、地域で労働争議をたたかう仲間とともに、企業、親会社、背景資本に対して、抗議、要請行動をおこないました。

早朝の8時から、北浜・大阪証券取引所前と大阪地裁前の2カ所でターミナル宣伝を行い、その後は合流して天神橋の郵便事業会社前で争議総行動のスタート集会をひらきました。大阪労連の川辺和宏議長は「企業や背景資本の不当な解雇、介入、攻撃、人権侵害、ルール違反、不当労働行為に断固として立ち上がり、力を合わせて争議解決に全力をあげよう」と呼びかけました。このあと参加者は3つの班にわかれて26の争議関係先に「企業は社会的責任を果たせ。イジメ、パワハラ、不当解雇、人権侵害をやめよ」と抗議と要請行動を行いました。

## 「継続雇用を前提に結婚もしたのに」

### 自治体による首切りに怒りの抗議行動 要請に理事長（副市長）が対応

東大阪市役所前では、市が、外郭団体の統合を目的に、東大阪環境保全公社が8名の解雇を強行したことに、抗議行動。当該組合員の中谷さん（写真 車上左）は、「26歳の臨時雇用の青年は継続雇用を前提に結婚もした。環境保全公社の川端理事長は市の副市長でもあるが、市議会での共産党の追求に『26歳の青年は納得して退職』と答弁した。この嘘に傍聴席にいた当該の青年は泣いた。今までは、



組合はレクリエーションをるところぐらいに思っていたが、『兵糧尽きて裁判もできなくなる』とうそぶく東大阪市長、副市長を絶対許せない。」とたたかう決意を表明。その後の要請団の交渉には、川端理事長（副市長）が直接対応し、団交に応じることを認めました。